

## 区立公園における民間活力の導入に向けたマーケットサウンディング調査

### 現地説明会（東山公園）実施記録

日時：令和5年11月21日（月）10:00～11:00

場所：東山公園

質疑応答の結果を以下に示す。

No.	質問内容	回答
1	シルバー人材センターの巡回・利用者指導は年間何日行っているか。	基本365日行っている。 (年末年始も実施している)
2	3公園で現地説明会を行っているが、サウンディングを実施するのは1公園のみか。	3公園全てについてサウンディングを実施する。来年度（令和5年度）は3公園のうち1公園を対象として事業化を進める予定である。
3	Webアンケートの「東山公園に新たに欲しい施設・イベント」の回答として「ドッグラン」が最も多くなっているが、公務員社宅等の東山公園近隣の集合住宅は犬が飼えるのか。犬を飼っている利用者はどのあたりに住んでいるのか。	「東山公園に新たに欲しい施設・イベント」のペットや飲食関連の回答は、目黒区外に居住している方、または目黒区内に勤務している方からの要望も含んでいる。 公務員社宅で犬が飼えるかどうかは把握できていない。
4	現地説明会資料2ページのグリーンクラブに「目黒区立ひがしやま幼稚園」があるが、この団体とはどのような関係性になるのか。	目黒区立ひがしやま幼稚園の先生と幼稚園児が活動している団体。それ以外の一般の方は参加していない。
5	民間活力導入候補公園として8公園あったが、どのような経緯で8公園から3公園を選定したのか。	まず、約1haある区内の公園を選定して計8公園を対象とした。この8公園について公園関係団体（ボランティア活動団体や維持管理に関わる事業者、管理を受託しているNPO団体など）にヒアリングを行い、公園の現状を整理した結果、サウンディング調査を実施する3公園を選定した。選定の過程は公表していない。
6	公園のコンセプトはいつ定められたものか。	公園設立当時のコンセプト、および、民間活力導入の検討を行うにあたって、公園関係団体（ボランティア活動団体や維持管理に関わる事業者、管理を受託しているNPO団体）へのヒアリングや利用者アンケートを行うことで現在の公園の利用のされ方を把握し、その結果に沿ったコンセプトを設定した。

7	休日はスポーツの利用が多いとのことだが、具体的にどのようなスポーツで利用されているのか。	具体的には、人工芝広場で小学生くらいの子供が10人程度集まってサッカーをしている、というような利用を利用者数調査ではスポーツとしてカウントした。草はら広場ではスポーツの利用は見られず、運動施設（人工芝広場、土系広場）に集中していた。
---	--	--

その他、現地説明会内で行った説明等を以下に示す。

No.	補足箇所	内容
1	現地説明会資料3ページ「Webアンケート調査結果」について	① Webアンケート回答者の4割が40代の方、3割が30代の方である。 ② 目黒区外に在住の方、目黒区内に勤務している方も回答しており、そのような方は「東山公園に新たに公園にほしい施設・イベント」の回答においてペット関連や飲食関連に票数が多い傾向があった。
2	現地説明会資料1ページ「利用者からのご意見・管理上の課題」について	草はら広場における草刈りは目黒区では年に2～3回実施している。
3	現地説明会資料2ページ「公園関係団体」について	① 目黒サンクチュアリーズ： 拡張部にあるビオトープの管理を中心として、生物多様性に配慮し、絶滅が心配されるいきものを守り育てる活動を行っている。環境学習のためのイベントの開催も実施している。主な活動日は第1・3土曜日。 ② めぐる遊び場づくりの会： 子育て世代を対象に、交流と情報交換の場づくりや子どもの遊び場づくりを行い、外遊びの大切さや楽しさを伝えている。主な活動日は第3水曜日など。ビオトープ周辺の樹林地を利用して、ロープを張ったり、土面を利用するなど、子どもたちに遊び場を提供している。
4	じゃぶじゃぶ池について	現在運転停止中。夏場の7～9月の3か月間に運転している。
5	既存部について	既存部の一部を、区内の公園に補植するための苗圃として使用している。